

[第126回藤樹人間学塾のご案内]



皆さま

令和 4年 5 月

NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 4年 6月 4日(土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.112～ (用意します)
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)



本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

5月7日(土)午後、安曇川公民館で第125回人間学塾を開きました。参加者は初参加の男性を含め10名でした。

- テキスト 中江藤樹著『鑑草』の第二巻「守節背夫の報い」の序と第1話「死別した夫に節を守り通した妻」
- あらすじ 守節とは節を守ること。

郡の長官の家に生まれた房氏は、幼いころから清らかな心を持っていた。成長して嫁いだ家は貧しかったが、姑に孝行を尽くし夫に節を守った。房氏は男子を産んだ。その後夫は重病を患った。夫は「私は今死んでも悔いはない。ただ残念ながらお前はまだ若いから再婚するだろう。そうなったら老母と幼い子の面倒はいったい誰が見るのだろうか。そのことだけが心配でならない」と言った。房氏は「あなたが亡くなるのは私の不幸です。しかし私はあなたの母上と幼い子がいるのですから再婚など決していたしません」と言った。その後房氏は、姑にますます孝行を尽くし、子を育てるにも道徳に則っていたので、その子はとても優秀で立派な人になった。その評判を聞いた国王は彼を郡の長官に任命し、その家は大いに栄えた。

■ 配布資料

- (1) 致知に掲載の横田南嶺師の「色即是空」…憎い人はいない、憎いと思う自分がいるだけだ。五蘊(ごうん)を理解し、対応策を会得すれば苦しみから解放される。
- (2) 同 数土文夫氏の巻頭言…21世紀に入っの課題は①IT、AIの進歩により仕事の寿命がどんどん短くなる、②人の寿命が百歳に伸びる。重要なことは新しいことを学ぶスキル。
- (3) 五木寛之『百歳人生を生きるヒント』…60代「再起動」孤独の中で見えてくるもの。70代「黄金期」学びの楽しさに目覚める。

- フリートーク 「今日の話も心にヒットした。改めて学び直すことが大切だと気付かされた」。「生涯を通じて学び続けていくことが重要です」。「70代が黄金期というのは気分が明るくなる」。「養老孟司の本にある、どこまでが自分かということと色即是空の説明が繋がった」。「『百歳人生』の本を読んで共感した。昨年から毎年新しいことを3つ始めている。昨年はアーチェリー、水墨画、ヨガ」→百歳を越えて現役医師だった日野原重明氏は新しいことを創めることを忘れなければ、人は老いないと言われていた。「将棋を教えている。どの子にも初段になれ！」と励ましている。兄は71歳で英国へ留学した」等の感想を頂きました。

学ぶは愉し！！